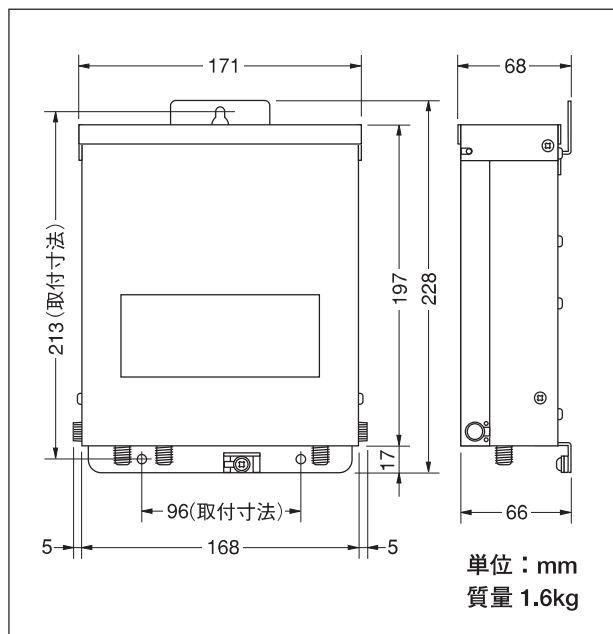


このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

取扱説明書

外観および寸法図



目次

表紙	説明の始まるページ
(取扱説明書)	
外観および寸法図	1
特長	1
取扱上の注意	1
メンテナンス	1
安全上の注意	2
廃棄上の注意	2
各部の名称および機能	3
標準性能表	4
ブロックダイアグラム	4
(施工説明書)	
関連法規	5
設置場所・条件	5
収納箱への設置	5
取付方法	5
設置・調整に関する注意	6
ふたの開け方	6
調整手順	6

特長

UHF帯(470~710MHz)を増幅する高性能な小型ブースターです。

取扱上の注意

電気工事には専門の資格が必要です。
取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。






メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。	
絵表示の例		△記号は注意(注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使わないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。



●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。



●本器の上面カバー(接続端子部カバーは除く)をはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●万一、本器を落としたり、破損した場合は、機器本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)



注意

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



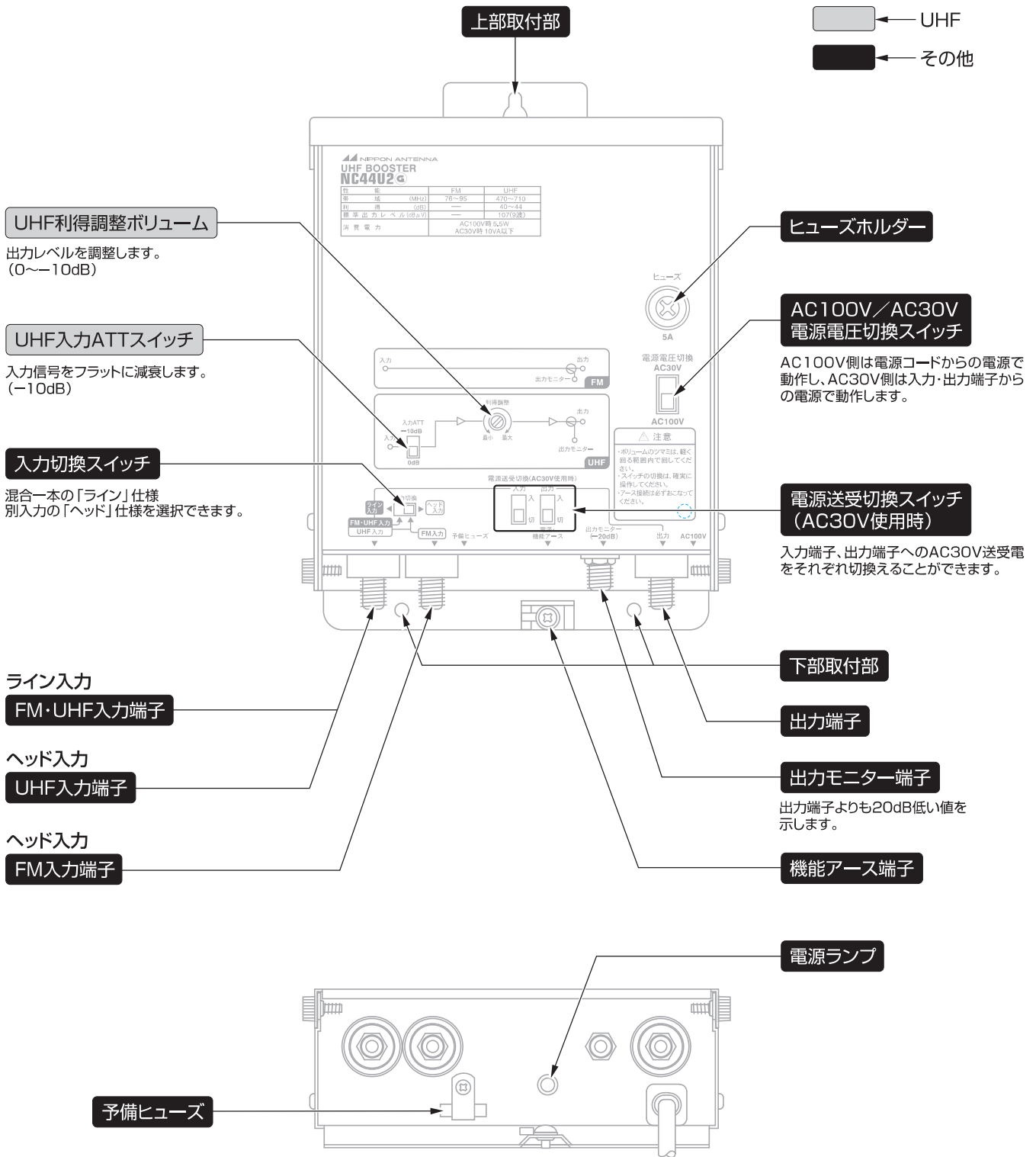
●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続コード(アンテナ線、機器間の接続コードなど)をはずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



廃棄上の注意

本器のすべて、または部品を廃棄する場合には、自治体の定めた条例にしたがって処理してください。

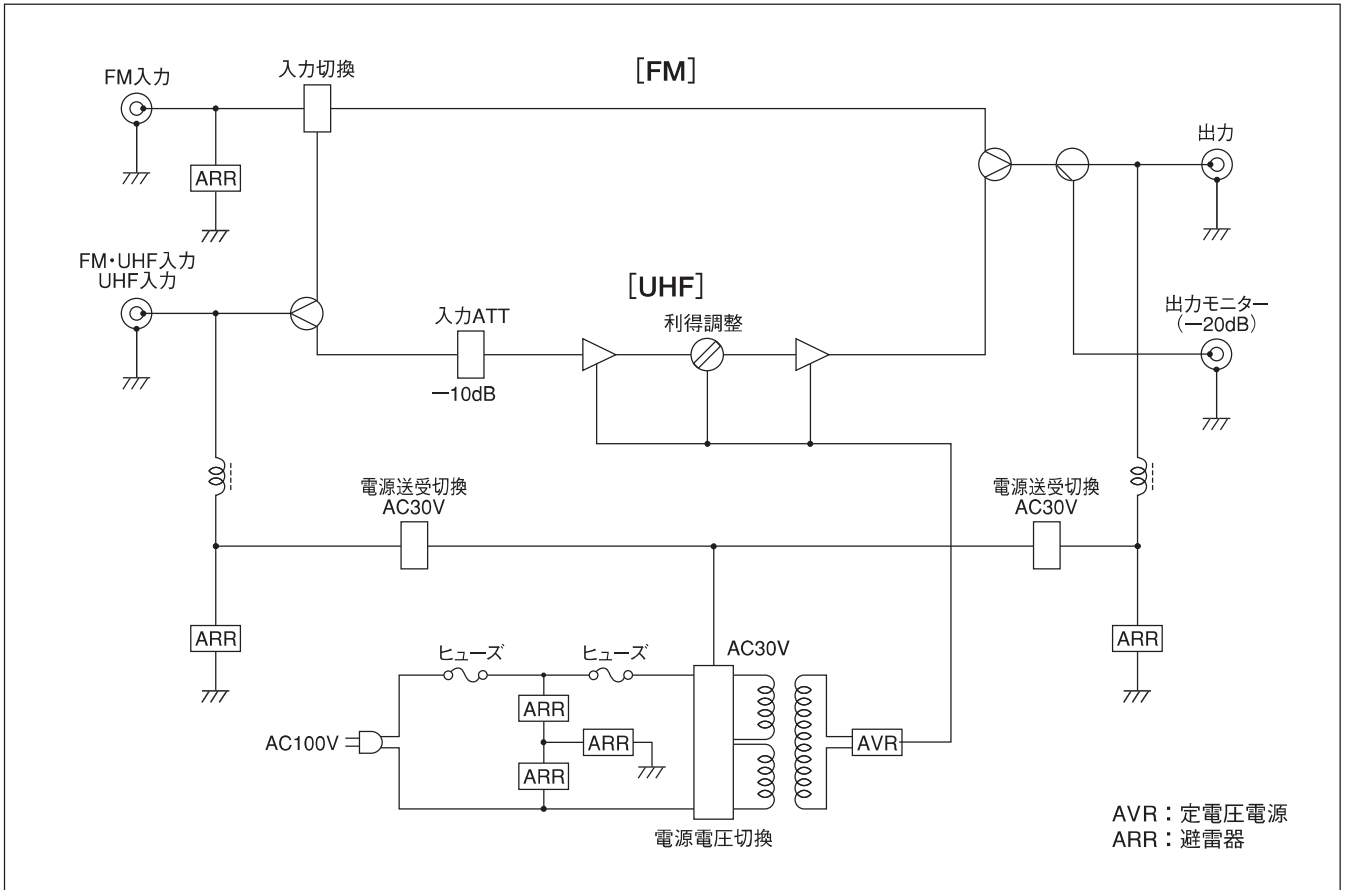
各部の名称および機能



標準性能表

項目	項目		備考
周波数帯域 (MHz)	FM	UHF	
	76~95	470~710	
利得 (dB)	—	40~44	
挿入損失 (dB)	3以下	—	
利得調整範囲 (dB)	—	0~-10	連続可変
帯域内周波数特性 (dB)	—	4以内	
利得安定度 (dB)	—	±2.0以内	
入力レベル調整 [ATT] (dB)	—	0、-10	切換
適正入力レベル (dB μ V)	—	67~77	
標準出力レベル (dB μ V)	—	107 (9波)	
雑音指数 (dB)	—	4.5以下	最大利得時
入力・出力インピーダンス (Ω)	75		F型
電圧定在波比 [VSWR]	2.0以下	2.5以下	
3次相互変調 [IM3] (dB)	—	-68以下	標準出力レベル時
ハム変調 (dB)	—	-60以下	標準出力レベル時
出力モニター (dB)	-20±1.5以内		
耐雷性 (kV)	±15 (1.2/50 μ s)		
電源電圧 (V)	AC100±10/AC22~30V (50/60Hz)		
消費電力 (V)	AC100V	5.5W	
	AC30V	10VA以下	
使用温度範囲 (°C)	-10~+40		本体周囲温度

ブロックダイアグラム



施工説明書

関連法規

放送法などが適用されます。

設置場所・条件

- 水中や高温(40℃以上)の場所、有害ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 本器は屋外使用となっておりますが、なるべく直射日光を避け、通風のある場所に設置してください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

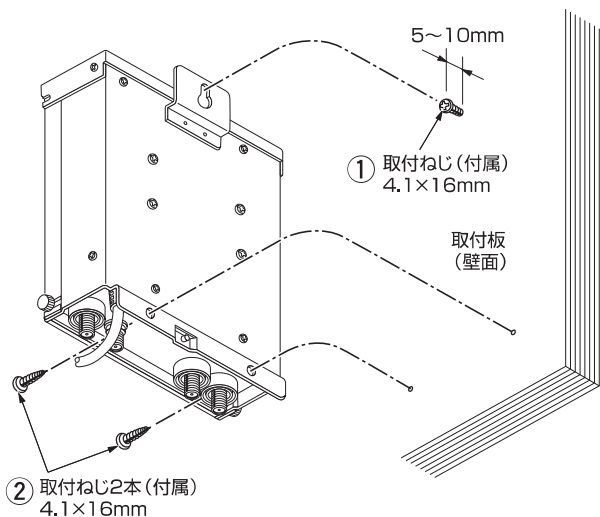
収納箱への設置

- 収納箱の最上部を避け、換気孔より下側の位置に設置してください。
- 収納箱に設置する場合は、同軸ケーブルの引き回しにより換気孔を塞がないよう、ゆとりある収納箱に設置してください。
- 収納箱についての注意
 - 上下に換気孔のあるものをご使用ください。
 - 収納箱のサイズ(本器1台を収納時)500(H)×500(W)×140(D)以上のものをご使用ください。

取付方法

●壁面取付方法

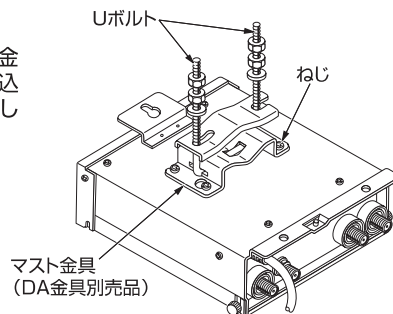
- ①付属の取付ねじで本体上部を固定してください。
- ②上部を止めた後、本体下部を付属の取付ねじ2本でしっかりと固定してください。



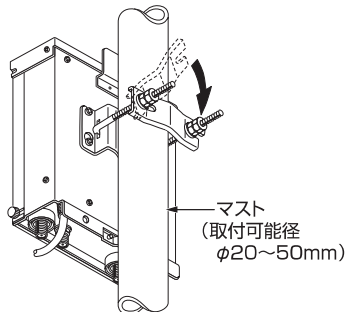
●マスト取付方法

4本のねじをゆるめ、マスト金具(DA金具別売品)をはめ込み、再びねじを締付け固定します。

- 締付トルク
1.5~2.0N・m
(15~20kgf・cm)

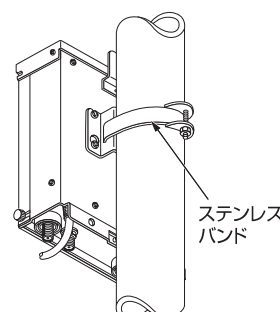


○Uボルトを使用した場合



- 締付トルク
2.0~3.0N・m
(20~30kgf・cm)

○ステンレスバンドを使用した場合



この時はUボルトをはずし、市販のステンレスバンドをはめてください。

⚠注意

本器は図のように必ず縦方向に取付けてください。指定外の取付けでは十分な放熱がおこなわれず、機器の故障の原因となります。

●機能アースの接続

- ①アース線先端の外被をはがしてください。
- ②アース端子にアース線を通して、圧着工具でかしめてください。
- ③アース端子をシャーシにねじ止めしてください。

カッター、ナイフなどで点線部分をカット。



⚠注意

アース接続は必ずおこなってください。接地がおこなわれないと機器の故障の原因となります。(接地抵抗 100Ω以下:D種接地工事)

アース線はφ1.6~2.0mmのIV線をご使用ください。

設置・調整に関する注意



機器に同軸ケーブルを接続する前に必ずレベルをご確認ください。過大なレベルの信号を入力すると機器の故障の原因となります。



F型接栓は軽く手で回した後、必ず指定のトルクで締めてください。トルクの過多・不足は機器の故障や障害の原因となります。

●F型接栓締め付トルク 2.0N・m(約20kgf・cm)



電源供給の際には先にケーブルを接続してから電源供給のスイッチを「入」側に設定してください。電源供給をしたままのケーブルの接続は、機器の故障や障害の原因となります。



利得調整などのボリュームのつまみは、径φ6mm以下のマイナスドライバーあるいは、調整用ドライバーを使用し、軽く回る範囲内で回してください。無理に回したり、押しつけると機器の故障の原因となります。



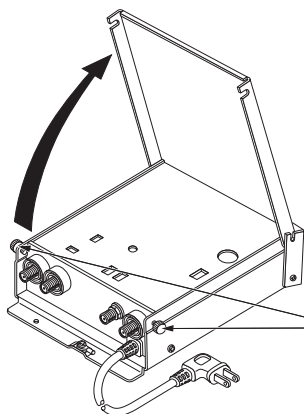
スイッチの切換は、確実に操作してください。

ポイント

出力モニター端子レベルは、出力端子の開放状態や、施設の電圧定在波比が悪い場合には、不正確になりますので、より正確なレベル測定をおこなう場合は出力端子をご使用ください。

●2段カスケード時の運用の目安 ※標準出力レベルから3dB下げて運用してください。

ふたの開け方



2つのねじをゆるめ、ふたを上を持ち上げるとふたが開きます。

調整手順

出荷時の設定

●入力切換 ヘッド入力

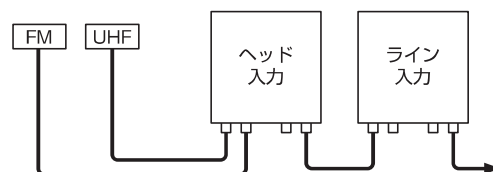
●UHF 利得調整 最小、入力ATT -10dB

●電源電圧切換 100V

●電源操作 (AC30V) 切

1. 入力切換の選択

- FM、UHF信号が別々の同軸ケーブルから入力される場合、ヘッド入力に設定してください。
- FM・UHF信号が一本の同軸ケーブルから入力される場合、ライン入力に設定してください。



2. UHF帯域の調整

①入力レベルの調整

入力端子に接続する前に、信号レベルが最大入力レベル87dB μ V以下(出荷時設定)であることをご確認ください。最大入力レベルは、適正入力レベル+入力ATT設定値になります。

●適正入力レベル 67~77dB μ V

調整機能 [●入力ATT]

ポイント

UHF帯域のアンテナ受信レベルが低いときは、前置増幅器を使用してください。本器は、UHF前置増幅器用に電源を供給することができます。(使用方法は次ページのUHF前置増幅器接続例参照)

②出力レベルの調整

出力モニター端子で確認します。87dB μ V(標準出力レベル)を超えない所要のレベルに調整してください。出力モニター端子は20dB少ない値を示します。

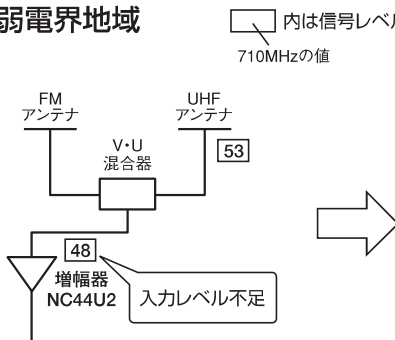
例：モニター端子のレベルが87dB μ Vであれば実際のレベルは107dB μ Vになります。

●標準出力レベル 9波 107dB μ V

調整機能 [●利得調整]

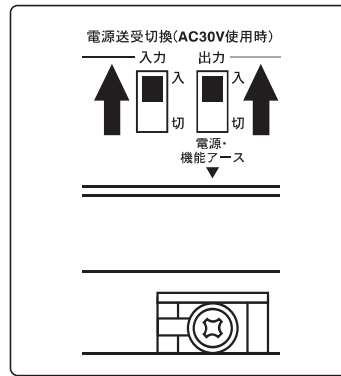
UHF前置増幅器接続例

●弱電界地域



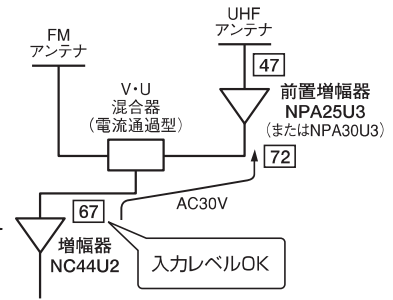
上記のように弱電界地域や、設置環境によりUHFアンテナから本器までのケーブル長が長く、適正入力レベルを確保できない場合がございます。ご了承ください。

●AC30Vを出力端子から受電し、入力端子に出力する場合



ポイント

- 前置増幅器はアンテナ直下に挿入してください。
- 増幅器NC44U2と前置増幅器のケーブル長は、100m以下(S-7C-FB相当)にしてください。
- V・U混合器は、電流通過型の物をご使用ください。(電通はUHFのみに設定してください。)



電源送受切換とAC30V・AC100V切換スイッチの操作

●AC100Vで使用の場合

- ◎AC30V・AC100V切換スイッチをAC100V側にスライドしてください。(工場出荷時はAC100V側にセットされています。)
- ◎AC100V使用の場合は、入力および出力端子にAC30Vを送電することができません。(電源送受切換[AC30V]のスイッチは使えません。)

●AC30Vで使用の場合

- ◎外部よりAC30Vを受電し本器を動作させる場合は、必ず電源送受切換[AC30V]スイッチの位置が使用目的によって右図の通りにセットされているか確認した後、AC30V・AC100V切換スイッチをAC30V側にスライドしてください。

※工場出荷時の電源送受切換[AC30V]スイッチの位置は、全て「切」側にセットされています。

⚠注意

- 送受電をおこなわない端子の電源送受切換スイッチは必ず「切」側にしてください。予定外の端子からの送受電は機器の故障や障害の原因となります。
- 本器の送受電容量はAC30V 1Aです。電流に注意してご使用ください。
- 2つ以上の電源から同時に受電することはできません。必ず単一の電源で給電するようにしてください。
- 送受電をおこなう際には、先にケーブルを接続してから電源送受切換スイッチを「入」にしてください。電源送受切換スイッチを「入」にした状態でのケーブル接続は機器の故障や障害の原因となります。

使用状態	使用例	電源送受切換
●入力より受電し、出力に送電しない場合		電源送受切換(AC30V使用時) 入力 入 出力 切
●出力より受電し、入力に送電しない場合		電源送受切換(AC30V使用時) 入力 切 出力 入
●出力より受電し、入力に送電する場合 ●入力より受電し、出力に送電する場合		電源送受切換(AC30V使用時) 入力 入 出力 入
●出力より受電し、入力のUHF・FMブースターへ送電する場合		電源送受切換(AC30V使用時) 入力 入 出力 入

ポイント

増幅部と電源の間のケーブル長は100m以下にしてください。またこの間に全電通型の分配器は使用しないでください。(推奨:1端子だけ電通できるもの)

お客様窓口



0570-091039

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

7107981 平成27年5月